

しんまちだよりネットワーク版

🍊オレンジサロン(認知症家族介護者教室・懇談会) 🍊報告

昨年11月/27日に認知症の家族を介護されている方や、認知症に関心のある方たちの交流の場として、第1回のオレンジサロンが開催されました。前半には各包括と認知症疾患医療センター（認知症の相談や診断を行う、地域の認知症対策の拠点となる病院）とをWEBでつなぎ、青柳センター長（認知症専門医）からのミニ講話がありました。後半には参加者同士の懇談会を実施しています。今後も、今回と同じ形式で、2か月ごとにオレンジサロンを実施していく予定です。

今回のミニ講座の内容の一部を、以下にまとめてみました！

🍊**認知症の定義と原因** 認知症とはいったん発達した知能が、脳の障害により失われ、生活に支障がでている状態。原因は脳の血管が破れたり、つまったり、脳に「ゴミ」がたまって、その部分の細胞が傷んで痩せていってしまうこと。脳の傷んだ場所によって、症状が違ってきます。



青柳先生



🍊**認知症の症状** 認知症の症状は物忘れそのものの中核症状と、妄想や幻覚が出現したり、暴言・暴力などの問題行動がおこる周辺症状などがあります。周辺症状の原因はいろいろですが、昔できたことができなくなり、自分でも不安で歯がゆい状況の中で、周囲から批判されても、うまく気持ちが表現できず、行き詰った感情が不穏の原因になっていることもあります。

🍊**認知症の種類** **アルツハイマー型認知症**→異常なたんぱく質が脳にたまることで発症。海馬の萎縮が目立つ。記憶障害から始まることが多い。**血管性認知症**→脳梗塞や脳出血など脳血管の障害が原因。**レビー小体型認知症**→脳にレビー小体という異常なたんぱく質がたまる。幻視やパーキンソン症状や便秘など自律神経症状がでることが多い。**前頭側頭型認知症**→65歳以下での発症が多い。性格が変わる、こだわりが強くなるなどの症状が目立ち、反社会的な行動がみられることもあります。

* その他、多くの原因疾患があります。

🍊**「気を付けたいこと」** 認知症の方の場合、その症状は100人いれば、100通りの個性があります。大切なのはどんな病気が決めつけてしまうことではなく、周囲の人が「病気があるからこういうことができないんだ。」と認めること。そして、どうしたらよいかみんなで考えていくことです。

～次回PR～



認知症のことを知りたい、介護の思いを共有したい方は、ぜひオレンジサロンにおいでください。ご自身のこと、家族のこと、地域のこと、みんなで話して考えていけるといいですね。1月のオレンジサロンはコロナの感染状況に配慮して中止となりました。次回のオレンジサロンは3月26日（土）午後2時～地域包括支援センターしんまちで行います。お申込みは、しんまち包括まで！



地域包括支援センターしんまち Tel.042-340-5060 FAX042-340-5622
e-mail: sinmachi-kg@t-kenseikai.jp 認知症地域支援推進員 山口
ネットワーク担当 野中